

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
公衆衛生担当理事 今井 一登

会員の先生方からお送りいただきました表記のアンケートの工夫や診療所等の状況についてまとめました。

おもな診療科	自由記載 ～工夫や診療所の状況等～
内	<p>1)感染疑い者隔離策 ビル診なので、共有スペースの廊下(エレベータホール)に椅子を置き院外・建物内を感染疑い者の待合いとしている。一部、院内のレントゲン室もその用途に使っている。インフルエンザの迅速検査なども共有スペースや、レントゲン室で行うこともある。 また、できるだけ電話での対応で、感染疑いのある方は、診療時間外に診察する時間を設けることを検討しています。(12時半から1時半、または2時から3時など)</p> <p>2)看護職員、事務職員を含めた話し合いを行い現在準備をしつつある。 まずは、各自が勉強すること、ガウンの着方、マスクのつけ取りのしかた、消毒、手洗いなどの、具体例をyoutubeなどで見ながら、実際に練習をしておく。また、練習したことを日々の仕事の中で習慣付けをしていく。その他衛生に関するマニュアルや、書物を読むようにしている。毎日、朝礼をすることとし、学んだことを職員皆で共有していく。</p> <p>3)職員に感染症当番をつくる 事務、看護ともにその日の感染症疑いの患者さんに対応する当番を作り、備品の節約や消毒薬などの手荒れを最低限にしていく。</p> <p>4)必要に応じてゴーグルやフェイスマスクをするが、普段から花粉症用のメガネをかけ、目からのウイルス感染の防御を行う。</p> <p>5)直接体に接しない物の消毒には、エタノールでなく、プロパノール(安価でまだ手に入りやすい。)を使う。また、エークイックなど他の消毒作用のあるものや、酸性水(消毒用イオン水)なども積極的に使う。</p> <p>6)マスクの不足に対しては、交換頻度をへらし、マスクと口の間にはマスク素材に似た不織布を数枚はさむ)</p> <p>7)換気について ①風の流れを考え(一部窓を開け換気扇を何か所かつけっぱなしにする。) ②15～30分に一度窓を大きく開けて風を通す。 ③HPで問診表をリンクしてそれをもとに電話での受診相談を受ける予定。</p> <p>8)備品について ①ビニール袋をたくさん準備している。 ②新聞紙も捨てずに取り置きをする。 ③職員の通勤に電車以外を(自転車など)を推奨する予定。</p> <p>9)患者との問診について レントゲン室へ患者に入ってもらいマイクを使って問診する方法や、来院した患者の携帯電話へ電話して問診を行い、極力直接接触しない方法をとる。</p>

「新型コロナウイルス」院内感染対策のアンケート結果

おもな診療科	自由記載 ～工夫や診療所の状況等～
内	感染症疑い患者の隔離室はありませんが、ベッド周辺をカーテンで閉鎖して待っていただき、そのベッドで診察しています。院内入室時の手指消毒をするよう注意しています。
内	待合室は簡易的なかんじで(インフル等)できるが、受付前と後ろぐらいで厳密などはいえない。
内	スタッフによる院内清掃(アルコール使用)
内	動線を中で分けることができるのでそれで対応する方向。
内外	裏口側のインターホンを鳴らしてもらう。
内小	院内外にポスターを掲示している(医師会からのポスターを利用して内容を一部追加している)
内	待合室と処置室には手を洗うシンクがあり、手洗いを進めている。 患者はマスク着用がほとんど。マスクの正しい装用法、咳エチケットの確認(高齢者は案外できない)をする。 診療所便りをつかい手洗い方法や発熱した時の受診すべきか、注意点などを広報。 事前に電話が来た患者には2階にある隔離室に順番に入ってもらい、時間を指定して来院してもらう。
小	マスクは不足がち。 ルビスタを用いておもちゃや手すりなどを消毒している。 (ハイターでは劣化や患者が舐めたりしたとき不安があるため)
不明	スタッフにはマスクを着用させている
内	消毒液の余裕がない。 待合室と診察室の分割は処置室の一部を利用。 ポスター掲示ではなくHPにUPしている。 受付で症状などは個別の聴取する。 関節リウマチや膠原病患者など「免疫学的弱者」に対応しているため、熱発者にはあらかじめ電話連絡や予約での受診を進めている。
婦	面会を一親等の親族まで可能と制限

「新型コロナウイルス」院内感染対策のアンケート結果

おもな診療科	自由記載 ～工夫や診療所の状況等～
内	定期受診の患者には電話再診を進めている。 通常の診療時間外の昼休みに風邪外来をしている。
小	ドアノブ、トイレのスイッチ等1時間に1回アルコール消毒をする。
眼	症状のある方はマスクを無償で提供。 日医からのポスターを掲示
皮膚	咳をしている方限定でマスクは無償提供。 ドアノブは1時間おきにアルコール消毒する。
内小	現在マスクは不足しているが熱がある方、咳のひどい方には無償で渡している。
胃腸	待合室ではなく車で来院の場合は車で待機してもらっている。 空間除菌・脱臭機能を謳う「ジアイーノ」の設置
内	マスク、消毒液ともに入手できない。 風邪は電話対応とし屋外待機で処方渡している。会計は2週間後にしていただく(院内には入らない) 受付(ナース)とは合わない。 保険証は携帯で写してカルテを作成。 薬局に入る前に電話して外で対応してもらうことにした。 まず、保健所へ電話してもらおう。→おそらくコロナではないのでクリニックへといわれる。 他院でウイルス性肺炎と言われた人も自宅待機と言われたらしい。 ウイルス性肺炎を胸部レントゲンで診断するのは難しいのではないかと(CTでない)